

中期経営計画について

2022年5月30日
日本軽金属ホールディングス株式会社

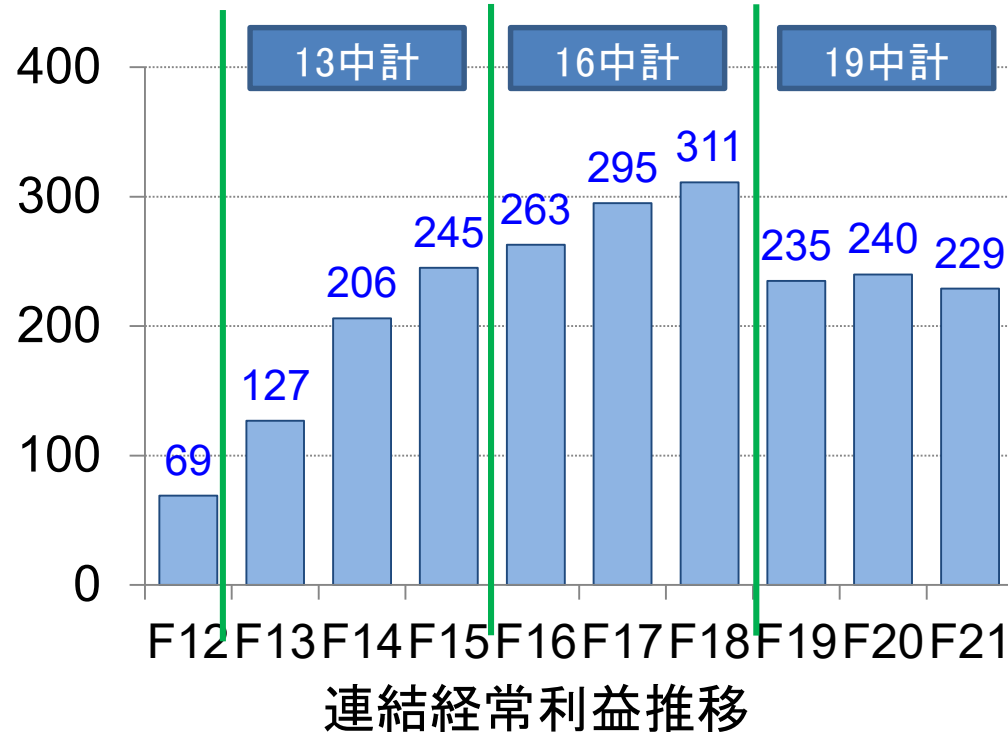
中期経営計画について

(1)2019-2021年度中期経営計画(19中計)レビュー

(2)2022-2024年度中期経営計画(22中計)概要

厳しい事業環境でも一定の収益を確保

(単位:億円)



➤ 19中計: 財務目標未達も
経常 **200億円** 台を着実に稼げる体制

米中貿易摩擦、新型コロナ、半導体不足、
原燃料費高騰など逆風下の外部環境

財務指標

(億円)

	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	19中計 目標
売上高	5,005	4,659	4,326	4,866	5,400
営業利益	301	246	242	222	375
経常利益	311	235	240	229	370
親会社株主に帰属する 当期純利益	206	75	34	168	240
R O C E	10.8%	8.0%	8.4%	8.7%	11.4%
総還元性向	27.1%	74.6%	119.6%	31.2%	30%基準

主な具体的実施項目

19中計具体的成果

新商品・新ビジネスの創出	■ 環境対応車 パワーコントロールユニット放熱プレート採用 ■ 環境対応車 バッテリー冷却プレート採用 ■ 医療用向け クリーンルーム用パネル採用
成長に向けた資源投入	■ 北米 自動車足回り部品 製造・販売会社設立 ■ インド 二次合金 第2工場稼働、第3拠点(新会社)設立 ■ インド アルミ箔 加工会社子会社化 ■ 国内 パネル テックラボ設立
経営基盤強化	■ 日軽熱交、日軽エンジニアリング完全子会社化 ■ 東陽精密機器(昆山)有限公司 出資持分売却 ■ 指名・報酬委員会の設置 ■ 重要課題・価値創造プロセスの特定(2021統合報告書発行)

- 課題対処
- ◆ 雨畑ダム堆砂対策 応急対策、短期計画(土砂搬出)完了、対策費用引当済
 - ◆ JIS認証に係る不適切行為 重要課題と認識、再発防止策を策定中

中期経営計画について

- (1)2019-2021年度中期経営計画(19中計)レビュー
- (2)2022-2024年度中期経営計画(22中計)概要



中期経営計画にこめた想い

持続的成長を続ける企業体制の構築

チーム日軽金で『お客様の価値』を提供し、
経済的価値と社会的価値を実現

日軽金グループのありたい姿

持続的に成長する企業体へ

日軽金グループ
のあるべき姿

企業価値の最大化

経営方針

アルミニウムを核としたビジネスの創出を続けることによって、人々の暮らしの向上と地球環境保護に貢献していく

重要課題

地球環境保護

持続可能な価値提供

従業員の幸せ

責任ある調達・生産・供給

企業倫理・企業統治

重要課題候補群の抽出

・400近いESG関連の社会課題からショートリスト化

Step1

重要性の評価

・社会的重要性と当社グループの企業価値重要度の側面から重要性の高い項目を抽出

Step2

妥当性・網羅性の確認

・外部有識者からの評価
・上記結果による再検討

Step3

重要課題の確定

・CSR委員会、グループ経営会議を経て、取締役会で承認

Step4

22中計基本方針

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

1. 社会的な価値の創出に寄与する商品・ビジネスの提供

- お客様ニーズを満足する商品・ビジネスの提供
- サプライチェーン・ライフサイクル全体を通じた多様な商品・ビジネスの提供
- 社会的課題を解決するためのグループ連携体制の強化

2. 経営基盤の強化

- 品質遵守の徹底(社会的信頼の回復)
- 安全最優先とコンプライアンスの徹底
- カーボンニュートラルへの対応
- 持続的な企業価値のための人財拡充・配置・教育

具体的アクション

基本方針	施策	2022中期経営計画
社会的な価値の創出に寄与する商品・ビジネスの提供	環境対応車向け部品ビジネスの強化	環境対応車向け部品ビジネス 強化
	グローバル市場拡大	北米/自動車部品量産開始、インド/自動車向け二次合金量産開始
	カーボンニュートラル(機会側面)	水平リサイクル・カスケードリサイクル取組、環境対応商品創出
経営基盤の強化	カーボンニュートラル(リスク側面)	既存技術と外部技術の活用、省エネ活動、燃料展開
	品質(社会的信頼の回復)	品質管理システム構築、不適切行為発生を風化させない仕組みづくり
	安全	ゼロ災害取組、継続・定着化
	DXによる業務改革・働き方改革	デジタル化・効率化、共通化、最適化
	従業員の幸せ	安全衛生、働きがい、ダイバーシティ&インクルージョン、人財の確保・育成

22中計基本方針

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

1. 社会的な価値の創出に寄与する商品・ビジネスの提供

- お客様ニーズを満足する商品・ビジネスの提供
- サプライチェーン・ライフサイクル全体を通じた多様な商品・ビジネスの提供
- 社会的課題を解決するためのグループ連携体制の強化

2. 経営基盤の強化

- 品質遵守の徹底(社会的信頼の回復)
- 安全最優先とコンプライアンスの徹底
- カーボンニュートラルへの対応
- 持続的な企業価値のための人財拡充・配置・教育

環境対応車向け部品ビジネス(前中計実績)

2019年11月14日アナリスト説明会資料

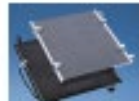
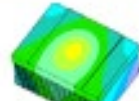
19中計 進捗

新商品創出・成長投資

素材・設計・加工の一気通貫で最大価値提供

トータルソリューション

日軽金グループの環境対応車向け熱デバイスビジネス



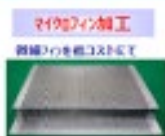
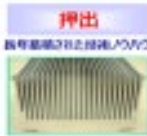
アルミ材料技術
＜特徴を活かした材料＞

熱解析技術
＜最適設計＞

素材から加工で熱対策

フィン成型技術

接合技術



モーター制御用パワーデバイス冷却

バッテリー冷却プレート

Nippon Light Metal Holdings

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

繋がることの重要性

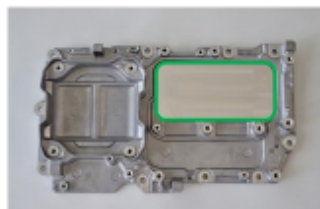
2021年11月16日アナリスト説明会資料

19中計 進捗

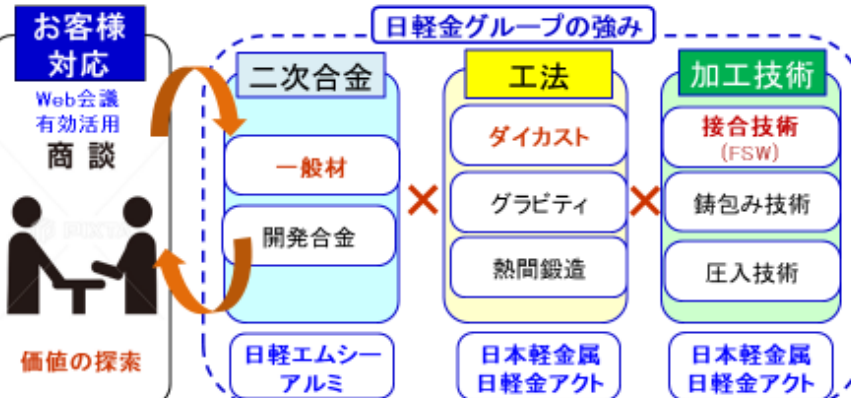
チーム日軽金で、お客様目線の高付加価値を実現

日本軽金属・日軽エムシーアルミ
・日軽金アクト

環境対応車の心臓部 パワーコントロールユニット
の放熱プレートに採用



環境対応車向け放熱プレート



チーム力で「お客様の感じる価値」とグループの「強み」を融合

Nippon Light Metal Holdings

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

環境対応車向け部品ビジネスの更なる強化

『お客様の価値』と繋げる

チーム日軽金の強みの集積

設計

素材・材料
×
工法・加工

品質機能
(評価)
×
スピード
(一気通貫)

お客様の価値
ニーズ

環境対応車向け部品ビジネスで倍増(21実績比)を目指す

グローバル市場における販売拡大

全世界で“地産地消”を更に推進

地域別F24成長イメージ(F21比)

中国 自動車

日軽金アクトバッテリー冷却プレート
量産開始(2020年)

インド 食品・健康

東洋アルミニウム
医薬包装向け箔加工事業
子会社化(2021年)

インド 自動車

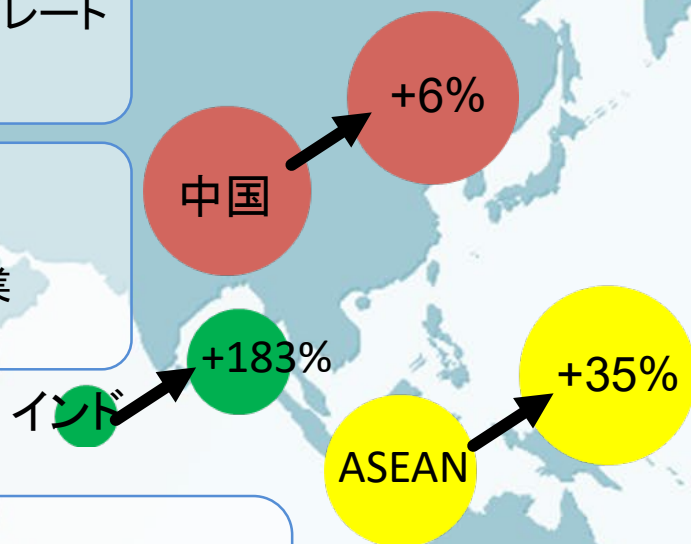
日軽エムシーアルミ 二次合金
第2工場(持分会社)能力増強(2019年)
新会社(連結会社)設立(2019年)
～量産開始(2022年計画)

米国 自動車

日軽エムシーアルミ 二次合金
車体構造材向け
能力増強(2022年計画)

米国 自動車

ニッケイ・ジョージア
鍛造足回り部品
会社設立(2019年)
量産開始(2022年計画)



19中計投資

日中米の3極体制 グローバル供給稼働

日中米 第3のピース 米国 へ本格進出



自動車足回り部品



切断機

- ・名称 : Nippon Light Metal Georgia, Inc. (略称:NLMGA)
- ・所在地 : 米国ジョージア州アデアースビル市
- ・資本金 : 16.0百万USD
- ・株主 : Nippon Light Metal North America, Inc.(NLMNA) 90%、
伊藤忠メタルズ(株) 10%
- ・生産開始: 2022年9月予定



鍛造機

カーボンニュートラルに対する取組み

持続可能な社会への貢献 カーボンニュートラルへの挑戦

2030年

2050年

目標

2013年比
30%減

ゼロ

リスク(マイナス要因)

➤ 炭素税負担の増加

機会(プラス要因)

➤ リサイクルスキームを最大限活用したサーキュラーエコノミーの実践による新たな価値の提供(環境対応商品の創出)

➤ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言も踏まえ、リスク・機会情報の開示を推進

チーム日軽金で実現するサーキュラーエコノミー



22中計基本方針

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

1. 社会的な価値の創出に寄与する商品・ビジネスの提供

- お客様ニーズを満足する商品・ビジネスの提供
- サプライチェーン・ライフサイクル全体を通じた多様な商品・ビジネスの提供
- 社会的課題を解決するためのグループ連携体制の強化

2. 経営基盤の強化

- 品質遵守の徹底(社会的信頼の回復)
- 安全最優先とコンプライアンスの徹底
- カーボンニュートラルへの対応
- 持続的な企業価値のための人財拡充・配置・教育

経営基盤の強化 品質遵守の徹底

自主的かつ徹底的に

- **品質保証体制の再構築**
- **組織風土改革**

特別調査委員会の答申を待つまでもなく、自主的かつ徹底的に品質保証体制の見直しと組織風土改革を行う

経営基盤の強化

安全最優先と コンプライアンスの 徹底

- ◆「ゼロ災害」達成
挟まれ巻き込まれ
災害撲滅
- ◆不正防止対応
品質以外へ展開
会計のIT統制強化

DXによる業務改革・ 働き方改革

- ◆操業改善
生産性向上
災害防止
(省力・自働化)
- ◆事務業務効率化
ルーティン業務削減

人財拡充、 配置、教育

- ◆多様な人財の活躍
- ◆デジタル人財の育成・採用

さらなる成長と経営基盤強化に向けた資金投下

持続的成長を目指し積極投資

16中計実績（865億円）

研究開発費 156億円

設備投資

新商品・拡販 113億円

省力化・安全 173億円

維持更新 423億円

19中計実績（959億円）

研究開発費 182億円

設備投資

新商品・拡販 234億円

省力化・安全 252億円

維持更新 291億円

22中計（1,110億円）

研究開発費 200億円

設備投資

新商品・拡販 290億円

省力化・安全 320億円

維持更新 300億円

株主還元方針

継続的かつ安定的な株主還元

【利益配分の基本方針】

財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、中長期的な視点から連結業績等を総合的に勘案し、株主の皆様への配当を実施

【利益配分の指標】

総還元性向30%を基準

- ・株主還元を着実に実施
- ・持続的な成長を図るため、積極的な投資を計画
- ・CASHポジション、自己資本比率等を総合的に勘案し、手段を選択

財務指標

	2021年度 実績	2022年度 予想	2024年度 参考値(＊)
営業利益	229億円	200億円	300億円超
1株当たり 配当金	85円	85円	100円

＊現時点での会社としての概算額を示す値であり、達成を目指す目標として位置づけるものではありません。



チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ